

C病棟(一般病棟)紹介

C病棟では手術目的・検査目的や化学療法導入目的患者、点滴や創処置など一般的な治療を必要とする患者さんが、殆どを占めており、ADL自立患者を中心に、ADLの維持・向上・回復意欲の向上・社会復帰につなげる援助を実施しています。

個々の疾患特有の在宅自己管理のケアの習得を、患者さん自身ができるようになるまで、援助見守りをしながら習得していきます。患者・家族への点眼指導、心不全患者の生活指導、自己注射、自己導尿、排泄皮膚ケアの方法等や他部門への (リハビリ・栄養科) コンサルテーションを検討し依頼していきます。

病棟は、患者さんの生活、知識の習得の場である
心理的・身体的・物理的、充足を図るための環境が
整っています



～ラウンジ～ 病室とは別に会話や相談、調整の会議を催す事ができる場所

歩行や離床するメリハリをつける為、ラウンジでの食事を推奨しています。食事の際には管理栄養士の栄養指導が食事の際に受けられる環境が整っています。

スタッフ紹介

～ WLB(ワークライフバランス)～
仕事と生活の調和を求めて

自己のスキルアップ、やりがいのある仕事と充実した私生活を両立させる為に、多種多様な働き方をしたスタッフがいます



入院・退院の多い病棟ですが、心のこもった看護を目標に、安全とケアの充足を図れるよう、日々協力と相談、検討の毎日です。

リーダーを中心に・サブリーダーとペア看護師で分担し記録・看護計画立案、必要度入力等は臨機応変に対応し、処置の洩れの無いように確認し合いながら看護ケアの充足に努めています。



時短と当院の託児所を利用しながら、常勤として1歳の子供の子育てに奮闘しています。

育児休暇後産前とかわらず、主任として管理業務もこなしながら子育てを頑張っています。



週3日勤務や4日勤務

まだ子供が小さいので6時間～7時間の時間制限の中で日勤業務をしています。

(勤務時間や日数はWLBに合わせて多種多様です)



定年退職後、再雇用制度を利用して、主に早出や遅出勤務、検温など、チームナースング・機能別看護方式を取り入れた中で、看護の一旦を担っています。